

令和2年度金城こども園の自己評価

金城こども園

1、教育・保育理念・保育観		評価	評価の根拠・改善方法
1	保育教諭一人一人が、金城こども園の保育理念・教育・保育方針を理解している。	4	全体研修などで理事長・園長より具体的に伝えている。園内研修で周知を図る
2	金城こども園の教育・保育方針を理解して教育・保育計画が立てられている。	4	園の全体的計画から各年齢の年間計画 月案、週日案へと繋げて作成している
3	常に教育・保育方針や保育観を確認できるような機会を作っている。	4	園内研修やリーダー一会中堅会の中で、意見交換するようにしている。
4	一人一人の主体性を大切にした保育をしている。	4	子どもの遊びが確立できるよう遊びを選択できるよう工夫し、思いを実現できる環境構成に努めている
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	3	新型コロナウイルスの影響で、相談事は多かったが成長の喜びを共感するには至らない
2、教育・保育計画・指導計画			
1	教育・保育方針の、ねらい及び内容が達成できるような全体的な計画や教育・保育計画を立てている	4	認定こども園教育保育要領に基づき、全体的な計画、年間計画を立て那覇市より指導を受けている
2	教育・保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して年間計画、月案、週案を立てている	3	週案会議を持ち現在の姿と計画を照らし合わせ見直しをかけながら行っている。
3	現在の姿を理解し、見直しをもって一人一人に応じた教育・保育計画を立てている。	3	自粛期間の違いから、個々の様子を的確に把握する事が難しかった。
4	配慮の必要な子には、その子に応じた教育・保育計画を立てている。	4	特別支援を必要とする子は個別支援計画を作成し対応し、発達の気になる子に対して年間を通して会議を繰り返し対応できた。
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	3	自粛期間中に食が細くなった園児が多い中、なぜ食べる事が大切なのかを伝え食育へと繋げている
2	調理士、保育教諭等が連携し、会議等で意見を交わし合いながらより良い給食になるよう努めている。	4	毎月1回、給食会議を開き、各年齢の給食状況や食育活動の様子など意見交換をしている
3	出来るだけ地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。	4	地元の青果店から食材を取り入れ、また子ども達が植栽した野菜なども活用している
4	給食やおやつは手作りをしている。	4	自園調理を行っている
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営が出来ている。	4	主幹が中心となって役割分掌・業務分担表作成し、担当以外も全員が参加できるよう連携を取っている
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が出来ている。	4	全体研修で、危機管理マニュアルを読み合わせ、心肺蘇生訓練・避難訓練等を実施している
3	職員が割り当てられた業務分担を把握し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。	4	役割分担された業務を行い、企画書や報告書を提出している
4	園内研修と園外研修の計画を立てて実行している。	4	年間研修計画を立てて実施している。園外研修はリモートが多かったため複数で受講するこ
5	施設整備や遊具等の安全点検を行っている。	4	毎月2名体制で、安全点検項目を設け定期的に点検を行っている
5、保護者支援			
1	保護者と良好な関係をつくろうとしている。	3	登降園時に積極的に、挨拶・声かけを行い話しやすい雰囲気づくりを心掛けている
2	園の保育内容や子どもの姿が分かるような発信をしている。	3	園のブログを活用して伝えたが、直接見聞きできる機会は少なかった。
3	保護者の状況を理解し、個人情報への漏洩に気をつけている。	4	園の重要事項説明の中で個人情報の取り扱いなどの了承を得て、漏洩に気をつけている
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	4	保護者の思いを理解するように、個人面談や電話聞き取りなどを行った
6、子育て支援			
1	地域に開かれた、日々子育てをしている親子を受け入れている。	2	新型コロナウイルスの影響で最小限にとどめた。
2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	2	園児以外の幼児にも園庭で遊べるよう、開放をしたが、緊急事態宣言からは自粛をした。

3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	4	意見要望や相談受付窓口を設けているが、現在の所相談事例がない
4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している。	4	活動報告のブログやホームページを開設している
7、小学校や地域社会との連携			
1	定期的に小学校と交流を行っている。	4	毎月校長先生との対話やお便りの交換・職員の交流など積極的に行った。
2	定期的に小学校やこども園との会議や職員交流を行っている。	2	1年生担当教諭との意見交換にとどめた。
3	高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。	2	地域民生員との意見交換にとどめた

4:よくできた 3:できた 2:一部改善が必要 1:改善しなければならない

こども園の自己評価 平均 3.517241 点

園全体の評価

金城こども園へ移管後4年がたち、理念方針に基づいた教育・保育活動が展開できている。職員も安定しているところから組織的な活動ができるようになり、クラス・役割を超えて連携が取れている。園の環境をうまく活用し戸外活動の充実を図った。充実した戸外活動を通し主体的な活動として行えるようになった。

特に、緊急事態宣言後の園児においては、体力の低下が顕著で、各々のペースで戸外で体を動かせる環境は無理なく遊びへとつなげることが出来た。

行事に関して、保護者の意見を取り入れつつ新型コロナウイルスの状況を勘案して行った。

保護者が参加する行事に関しては、保護者参観を1度、個人面談を2度、運動会を開催した。

感染予防に協力を得ながら取り組むことが出来たが、一部人数制限を超えて来場した家庭もあったことから、主催する側の管理についてより保護者の理解を得られるよう、活動内容を開示したり配信を様々なツールを使い行うことが課題である。

小学校との接続に関して昨年度積極的に働きかけ、成果を残すことが出来たが、今年度は隣接小学校長との定期会談と小学校1年生の担当との意見交換程度になってしまった。新型コロナウイルスが落ち着き次第、スムーズな就学への支援、地域への情報発信に努めたい。

地域に関して、近隣公園の遊具が廃止・撤去される中、昨年度導入したブランコ・滑り台等を利用するため、休園日に家族ずれが園庭を利用する姿が散見される。安全点検を行い使用してはいるが、管理責任について不安がある。また、小学校の敷地内にあるといえども、休園日に敷地内に部外者が入る状況を改善できるよう行政に働きかける必要があると感じる。